



西表研究施設 公開講座

ボルネオの森を探る

講師：塚谷 裕一先生（東京大学・教授）

東南アジア熱帯雨林の核心部はボルネオ島と言えるでしょう。オランウータンが住み、アジア象が群れをなし、サイチョウが飛び交う熱帯の森は、いまや急速にアブラヤシのプランテーションに置き換わり消滅しつつあります。その森と共に、名も付けられないまま絶滅する植物種も多いと想像され、今、研究者たちは焦りを覚えながら急いでその戸籍調べを進めています。特に「森を食べる植物」、腐生植物はかなりの種数が、まだ科学的に記録されないまま残されており、森を訪れるたびに新種が見つかるのが現状です。今回は、そんなボルネオの森を探索する様子を、Eテレや放送大学でもおなじみの、東京大学の塚谷裕一先生が紹介して下さいます。

日時：平成31年 4月 12日（金） 19:00～

会場：琉球大学熱生研西表研究施設講義室



入場無料・事前申し込み不要

- ・座席数には限りがあります（40席を予定）。
- ・開始5分前までにご入場下さい。
- ・問い合わせ先：西表研究施設事務室

Tel 0980-85-6560 <http://nesseiken.info>

